

Festikap Sprint シリーズ第6戦

スーパーSSクラス (参加7台)

Festika Circuit

フレーム : TONY RACER EVX(08)

エンジン : YAMAHA KT100SD

タイヤ : ブリヂストン SL07 SL94(レイン)

エンジニア: 加藤 真 (レーシングサービス エッフェガーラ)

メカニック: 立木 保 (チーム エッフェガーラ)



◆レース結果

TT 3位 (33.027)

予選 2位 (33.013)

決勝 2位 (33.145)

◆ 2010 年度

シリーズランキング

3位 (62.5 ポイント)

◆ 今大会に向けて

今回は仕事上思った様な練習とテストが出来ず、レースウィークに突入・・・前日の練習でもタイムも伸び悩み若干のハマリ状態で練習終了。前回グリップ不足もあったので、腰に負担のかからないセットに振ったのが裏目に出ている感があったが、この程度は走りでカバー出来ると信じ微調整で本番に臨む。

◆レースレポート

公式練習

コースインから徐々にペースを上げるが思ったよりタイムは上がらない。タイヤとマシンのマッチングに違和感を感じる・・・ドライビングを微調整し何とか二番手タイムに滑り込むが、今日の苦戦を感じさせられ公式練習終了。

公式番長のはずの鴨シーもいつもの勢いが無いようだ。やはりセットをはずしている模様?? (詳細は鴨シーのレポート、鴨シーワールドにて・・・)

タイムトライアル

やはりタイヤとマシンのマッチングが悪くいつものフィーリングが出ずタイムも伸びない。最終ラップまでは2番手にいたが、最後に逆転され3番手で終了。気になる鴨シーはペースが上がって来たようだ!

予選ヒート: 3番グリッドとトップを狙える好位置でのスタート・・・まずはスタートで2番手に上がり後半勝負の作戦でローリング開始。ポールの迫選手はなんと1周目にローリング突入・・・廻りを惑わす作戦か? そうはイカの〇〇〇〇! 集中してアクセルオン、1コーナーでN先輩と軽く接触はあったものの2番手に浮上。ここまでは作戦通り、後は迫選手を追うだけ・・・しかし相変わらず違和感は解消されずペースも思う様に上がらずそのままゴール

決勝ヒート: 気温も予想以上に上がり、セットを根本から変えたい所だが、後は走りでカバー出来るはず・・・気になるフロント廻りだけを変更し決勝に臨む。アウト側スタートなのでポジション落とさない事を心がけローリングスタート。ポールの迫選手はアウト側の自分を意識してか変則スタートをする。またもやそうは問屋は卸さない! 集中してポジションを落とさず1コーナーをクリア。前半は付いて行けるも後半じわじわ離されそのままの順位でゴール。自分としてはつまらないレースをしてしまう。

◆レースを終えて

いつも専属メカをしてくれたタモさん、加藤監督、足立さん大内さん川口さん、はじめ応援に来てくれた方々に感謝し、レースレポートとします。

◆今年を振り返り・・・

今年は事情もあり全レースに出場せず、のんびりとレース活動をしようと思っていたが、途中から自分が引っ張らねばとマジになっていました。自分は3年連続チャンピオンにはほど遠く、いまひとつでしたが周りが少しずつやる気が出て来たので、多少はチームにも貢献出来たかなと思って、来年への糧にしたいと思います。今年の目標はあとコンマ1が目標で練習して来ましたが、終わってみれば維持するのが精一杯といったところで自分との格闘の一年でした。来年は心・技・体もう一度成長することを信じてもう少し頑張ってみようと思います。